

平和記念式典への中学生派遣、減らすな

私は、6月議会会の一般質問で、広島平和記念式典への中学生派遣、消防団の適正配置、吉川区東寺地内の配水池工事に伴う給水不具合問題を取り上げました。

【橋爪】事務事業の見直しのなかで、今年度から広島平和記念式典への中学生派遣生徒数をこれまでへの3分の1にしたが、その理由と経過について聞きたい。

【村山市長】広島平和記念式典への中学生派遣事業は、次代を担う世代が、原子爆弾の投下をもたらした悲惨な歴史を学び、戦争の傷跡を目の当たりにする経験を通じ、平和と命の尊さを実感する貴重な機会になっている。その一方で、実態面を見ると、目的地である広島市へのバスによる移動におよそ11時間を要し、参加する生徒の身体面での負担が大きいこと、

また、全ての参加生徒の日程を調整し、事前の学習会や説明会、事後の報告会などを開催すること、が、なかなか難しいことでもある。今回、本事業の目的を、より効果的に達成できるように、全体的な見直しを行った。現段階において、これを従来の方式に戻すことは考えておられない。

【橋爪】バスで時間がかかるなら電車にすればいい。派遣する生徒を全校から集めるのが難しいというレベルの話でもない。中学生がどう思っているか、そこをしっかりと踏まえて対応を決めるべきだ。

【野澤教育長】私は各校から一名派遣というやり方には疑問を持っていた。今回、現地に行つて何をするか工夫をしていただいたのはありがたい。生徒にはしっかりと説明し、自ら手をあげてくれる生徒が一人でも多くなるよう努力していく。

吉川区内の給水不具合、年度内に改善を約束

【橋爪】吉川区泉谷地区、勝穂地区内のいくつかの町内会で給水不具合が生じており、また、消火栓について心配の声が上がっている。あわせて、今回の給水不具合



【ケンポナシ】クロウメモドキ科の落葉高木。漢字で、「玄圃梨」と書きます。昔はあちこちで見かけたものですが、最近は少なくなりました。いま、小さな白い花を咲かせています。甘い香りも出していますよ。能生の吉田惣栄さんから、「いい蜜源だよ」と教えてもらいました。

が生じた原因と今後の対策について聞きたい。

【市川が水道局管理者】東寺、平等寺、後生寺の一部世帯に不具合が生じていた。関係世帯には世帯の宅地内に小型ポンプを設置し、水圧の改善を図った。この応急的な対応と並行し、現地の状況を調査したところ、本工事により水道本管の水圧は市の施行基準を満たしたものの、水道本管から宅地内までの、各世帯が敷設する引込管の長さや口径などを十分に考慮せずに、本工事の設計並びに施工を進めたため、工事前と比べて宅地内の水圧が大きく低下した世帯があったことが判明した。

このため、今後の対応としては、東寺配水池の配水区域の水圧の改善を図るために、改築した東寺配水池を高台へ移設することを検討しているところであり、今後、移設場所の選定を進め、年度内には工事を完了させたいと考えている。

【橋爪】市内にはこのほかにも給水圧力が低いなど困っているところがあるようだ。調べてほしい。

【市川管理者】今回の教訓もあるので、きちっと調査していく。

※消防団関係の質問は次号の予定

「ふるさとには緑なり」吉川区などで話題に

吉川区代石出身の作家、小野寺勇さんの新刊、「ふるさとには緑なり」（知活社）がいま話題となっています。

この新刊は小野寺さんの中学時代のことを小説風に書いた記録で、全文289ページです。吉川中学校での出来事や当時の農業のことなどがじつに生き生きと書かれています。

この本を読んだ人からは、「学校の同級生などが実名で登場してくるので面白い」「昔の農作業のことが丁寧に書いてあり、懐かしさでいっぱいになった」などの声が聞こえてきます。



はしづめ法一の
活動レポート

No.1914 2019.6.23

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五六二回 帰っちゃうのか

笑顔になっただけでなく、人間って、うれしいときはうれしいですね。

先週、用があって、二日連続で妻の実家へ行ってきました。いずれも、ほんの一時間ほどしか滞在しなかったのですが、義母の表情を見ていて、そう思ったのです。

二日目の時、義母は最初、自分の部屋に入ったままでした。「ローヒーを馳走にならせたときでしたから、三〇分くらい経ってからだだったと思います、義母が部屋からゆっくりに出てきました。

義母は薄紫色と赤い色の小さなモミジの葉が描かれているパジャマを着たままでした。その様子を確認した家族の者が、そばまで行って、頭をなでながら、「かあちゃん、鬼ババみたいだった頭、きれいになったね」と言いました。義母はにこりともしませんでしたが、かといって、怒っていたわけではありません。

あとで妻から聞いた話ですが、私が訪問していることを知って、九四歳の義母は髪を整え、部屋から出てきたようです。義母は部屋から出てくるたびに、左手に赤いトマトを一個持ちこいてました。

このトマトは前日、私が吉川区内のトマト農家、山岸さんから買って持参したものです。前日は、私がいるときに、義姉から八等分してもらい、トマトの一切れひとときれを味わって食べていました。「これ、おいしい」と言っていましたから、すでに三個全部がなくなっていたかと思ったら、まだ残っていたんですね。

義母は居間に入ると、「これ、切って、持ってきてくれや」と妻に言いました。

このとき、テレビでは東京へオリンピック招致する話をやっていました。数年前の話ではありません。加納治五郎や東京市長の永田秀次郎が出ていましたから、東京で

オリンピックをとく運動が起きた数十年前の出来事です。戦争している国でオリンピックを開催していいのかという声があるなかで、永田だか加納が、「オリンピックは政治に左右されてはならないのです」と訴えている姿が映し出されていました。

切られたトマトが出てくるまで、義母は、私の隣のイスに腰掛けて待ちました。見ると、首に素敵なネックチーフを巻いています。しかも結びもきれいです。「なかなか素敵だね。でも、暑くないの」と尋ねると、「これを巻いていないと寒い」という答えが返ってきました。

切ったトマトが出されてからのことですが、テーブルの上には箸もフォークもありません。誰かが金色に光ったフォークを食器棚から出してきました。

この日も義母は、「このトマト、おいしい」と言い、金色のフォークで一切れひときれゆっくりに味わいながら食べました。

食べ終わったところで、義母は、「もう一個ある。明日が楽しみだ」と言いました。そして、もうひとこと、「ああ、おいしかった。もう夕飯いらん」とも。

そばにいた妻が、「夕飯はまだおいしいもの出るよ」と言ったのですが、それには反応しません。代わりに反応したのは義兄です。「ソーメンとかき揚げがある。四分の一に分けて食べればいいさ」と言いました。

義母がトマトを食べ終わった段階になって、裏庭から涼しい風が居間にすーっと入ってきました。なるほど、これならネックチーフを必要とするかも知れません。

夕方の四時半過ぎ、帰らなければならぬ時間になりました。「さあ、帰ろう」と言うって立ち上がると、義母がすぐに反応しました。「もう、帰っちゃうのか」と。

専徳寺開基500年法要で稚児行列も

開基500年。すごいですね。吉川区山直海の専徳寺で15日、開基500年と本堂屋根工事落成法要がありました。

この日は、法要に先立って稚児行列が行われました。稲古公民館をスタートし、専徳寺の階段を上って本堂へというコース。距離にして400メートルくらいになるでしょうか。川袋のYさん、泉谷のKさんなど30

代、40代の夫婦の子どもさん、約20人がゆっくりに歩いてくれました。

法要が始まったのは午前10時から。たくさんのお寺さんたちのお経の声は大きく、かつ力強いもので、聴いているだけで励まされ、元気になります。ただ、残念だったのは、この法要の準備に携わってきた徒兄の姿がないことでした。天国で見守ってくれているとは思いますが。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月12日(水)	6月19日(水)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.047	0.043
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.067	0.060
東頸消防署	0.050	0.057
高士分遣所	0.040	0.047
名立分遣所	0.047	0.050